

ビルトインコンロ [システムキッチン用]

Si 全口センサー搭載
センサーコンロ

家庭用

ガス機器防火性能評定品

品 名 (品 番)

PD-100H

PD-100H-B

P1310BONHN

工事される方へおねがい

- この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置工事説明書」をよくお読みになって指定された設置を行ってください。
- 設置工事が終わりましたら、**(7 設置工事後の点検確認)** のチェックリストに従い、必ず再確認を行ってください。
- 設置終了後は、この「設置工事説明書」を「取扱説明書」とともに必ずお客さまにお渡しください。
- PD-100H・P1310BONHNとPD-100H-Bに互換性はありません。ワークトップの形状を確認し、ご使用のキャビネットに合った機器をお選びください。

目次

	ページ
① 安全に正しく設置していただくために	2~4
② 寸法図	5~7
③ 設置前のご注意	7
④ 設置場所の確認	8~9
⑤ ガス配管工事	10
⑥ 機器の設置	11~15
⑦ 設置工事後の点検確認	15
⑧ 試運転およびお客さまへの取扱説明	16



48471860004

1 安全に正しく設置していただくために

機器を安全に正しく設置していただくためや、工事される方や使用される方への危害、財産への損害を未然に防ぐため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよくご理解いただいてから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容は、次の絵表示がしてあります。



禁止



必ず行う



分解禁止



換気必要



警告



必ず行う

■この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置工事説明書」をよく読み、指定された設置を行う

本書に規定されている設置条件が守られないことにより生じた事故等は保証期間内であっても保証の対象となりませんので、ご注意ください。



必ず行う

■設置は必ず、この「設置工事説明書」と「ガス機器の設置基準および実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）に従う

変則的な設置をすると事故や火災の原因となります。



必ず行う

■ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です

必ずガス供給業者または、資格を有する設置業者が行ってください。
(10ページ参照)

ガス配管工事を依頼されるとき

ガス配管工事が必要なときは、お買い上げの販売店かパロマお客様相談室までご連絡ください。工事をお申しつけのときは、右記のことをお知らせください。

- 品名(品番)・器具名(銘板表示のもの)・ガス種
- 工事のご依頼内容
- ご住所・ご氏名・電話番号

工事についての お問い合わせは	パロマお客様相談室 052-824-5145	受付時間：平日 9：00～18：00 (土・日・祝日・弊社指定定休日を除く)
--------------------	----------------------------------	---

⚠ 注意



必ず行う

■この機器は家庭用の調理以外の用途に使用できないため、用途を確認して設置する
火災や不完全燃焼、機器の故障など思わぬ事故の原因になります。



必ず行う

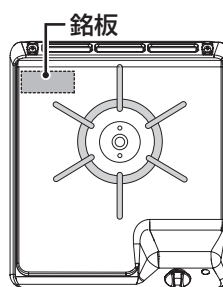
■供給ガスと設置する機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）が適合していることを確認する

ガス種が合っていない場合、火災や不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火でやけどをしたり、機器が故障することがあります。

銘板は、トッププレートの左後方に貼り付けてあります。

（例）銘板

型式名	製造番号
器具名：PD-100H	
A1-2-5 都市ガス用 **・**-*****	
12A 2.47kW	13A 2.65kW
ガス消費量	ガス種（ガスグループ）



分解禁止

■絶対に改造・分解は行わない

設置工事で必要なところ以外は、改造や分解は行わないでください。

一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また、機器の故障やガス漏れや火災の原因となるおそれがあります。



禁止

■業務用として使用しない

この機器は一般家庭用です。業務用として使用すると、機器の寿命が極端に短くなります。

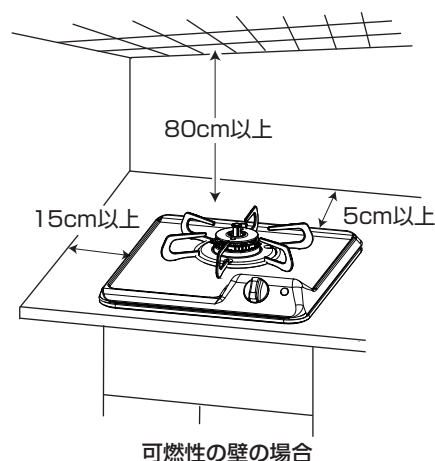


必ず行う

■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

火災予防条例により、機器周囲の可燃物からの距離が定められています。可燃物からの離隔距離については、**4 設置場所の確認**に従ってください。

距離が近いと火災の原因になります。また可燃性の壁にステンレス板などを、直接取り付けでご使用になっても、熱伝導がよいため長年の間に可燃物が炭化し火災になることがあります。



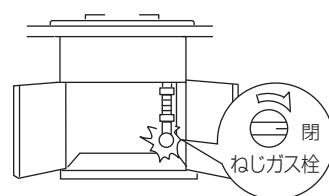
必ず行う



必ず行う

■設置後、必ずガス栓（ねじガス栓）を閉める

機器のガス栓（ねじガス栓）は機器下方、またはキャビネット内にあります。ガス事故防止のため必ず行ってください。



必ず行う

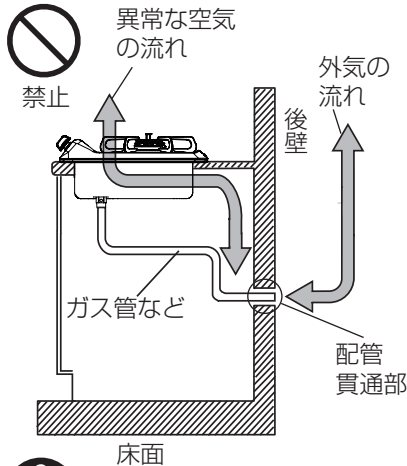
⚠ 注意



必ず行う

■キャビネットを背板などでふさぐ

コンロ後方がふさがれていない場合は、ベニヤ板やアルミテープなどでふさいでください。コンロ後方がふさがれていないと、コンロと後方空間や外気との間で異常な空気の流れが生じる場合があります。炎がゆらいだり、炎がもぐりこんだり、火が消えたり、不完全燃焼することがあります。



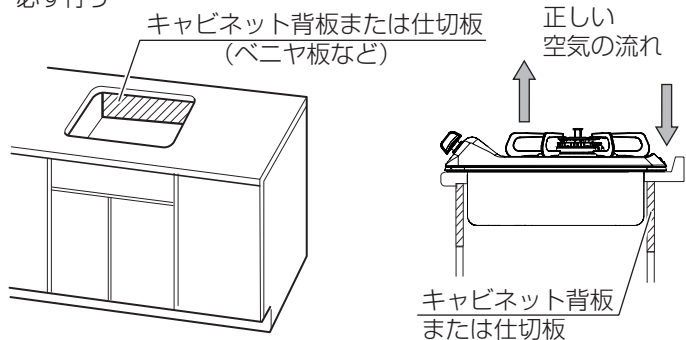
必ず行う

配管貫通部をふさぐ



必ず行う

■キャビネット背板または仕切板設置例



禁止

■機器とガス配管を接続するときは強く締めすぎない

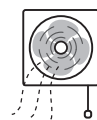
強く締め込みすぎると機器が破損してガス漏れの原因となります。



換気必要

■十分な換気設備がある場所に設置する

この機器はレンジフードファンや換気扇などでの換気が必要です。設置するガス機器および同一室内に設置してある他の機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置してください。ただし、室内給気式（FE・CF）給湯器・ふろがまを使用している場合は、レンジフードファンなどを回すと排気ガスが逆流して一酸化炭素中毒の原因になるため注意が必要です。



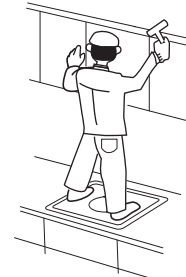
換気必要



禁止

■機器の上に乗らない

トッププレートが破損し、非常に危険です。トッププレートに強い衝撃を与えたり、過度な荷重をかけたりしないでください。トッププレートの変形、破損の原因となります。



禁止



必ず行う

■工事内容に応じた安全策を講じて作業を行う

けが防止のため、手袋を着用し作業を行ってください。工事内容に応じて安全靴・安全帽などの安全策を講じてください。

おねがい

この機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。そのままにしておきますと、思わぬ事故になります。

■ 外形寸法図

Technical drawing of the R1/2 (Onaji) gas burner assembly, showing three views with dimensions in millimeters.

Top View:

- Overall width: 318
- Overall height: 356
- Distance from top edge to burner center: 143
- Distance from left edge to burner center: 87
- Distance from right edge to burner center: 83
- Label: (電池ケース位置) (Battery case position)

Side View:

- Overall height: 364
- Top flange width: 58
- Top flange thickness: 25
- Top flange offset: 20
- Distance from top flange to burner center: 119
- Distance from burner center to gas inlet: 48
- Distance from burner center to gas inlet (battery case dimension): 30
- Distance from burner center to gas inlet (gas inlet dimension): 64
- Distance from burner center to gas inlet (body dimension): 35
- Distance from burner center to gas inlet (gas inlet dimension): 30 (ガス接続口)
- Distance from burner center to gas inlet (gas inlet dimension): 92
- Distance from burner center to gas inlet (gas inlet dimension): 51
- Distance from burner center to gas inlet (gas inlet dimension): 60
- Distance from burner center to gas inlet (gas inlet dimension): 65

Front View:

- Overall width: 252 (本体寸法)
- Overall height: 82
- Distance from top edge to burner center: 50
- Distance from burner center to gas inlet: 83 (ガス接続口)
- Distance from burner center to gas inlet (R1/2 (Onaji))
- Labels: スペース (Spacer), 固定金具 (Fixed bracket)

Technical drawings of the COOH-B unit showing dimensions in mm.

Top View:

- Overall width: 318
- Overall height: 356
- Internal width (excluding side rails): 143
- Distance from left side to center: 87
- Distance from center to right side: 83
- Label: (電池ケース位置)

Side View:

- Overall height: 364
- Top flange width: 58
- Top flange thickness: 25
- Top flange offset: 20
- Label: 設置ばね
- Internal height (excluding top flange): 36
- Internal height (excluding top flange and bottom flange): 119 (電池ケース寸法)
- Internal height (excluding top flange and bottom flange): 48
- Internal height (excluding top flange and bottom flange): 64 (ガス接続口)
- Internal height (excluding top flange and bottom flange): 35
- Bottom flange width: 51
- Bottom flange offset: 60
- Bottom flange thickness: 65
- Internal width (excluding side rails): 92
- Internal width (excluding side rails): 30 (ガス接続口)
- Overall width (excluding side rails): 285 (本体寸法)

Front View:

- Overall width: 252 (本体寸法)
- Distance from left side to center: 83 (ガス接続口)
- Label: R1/2 (オネジ)

(単位 : mm)

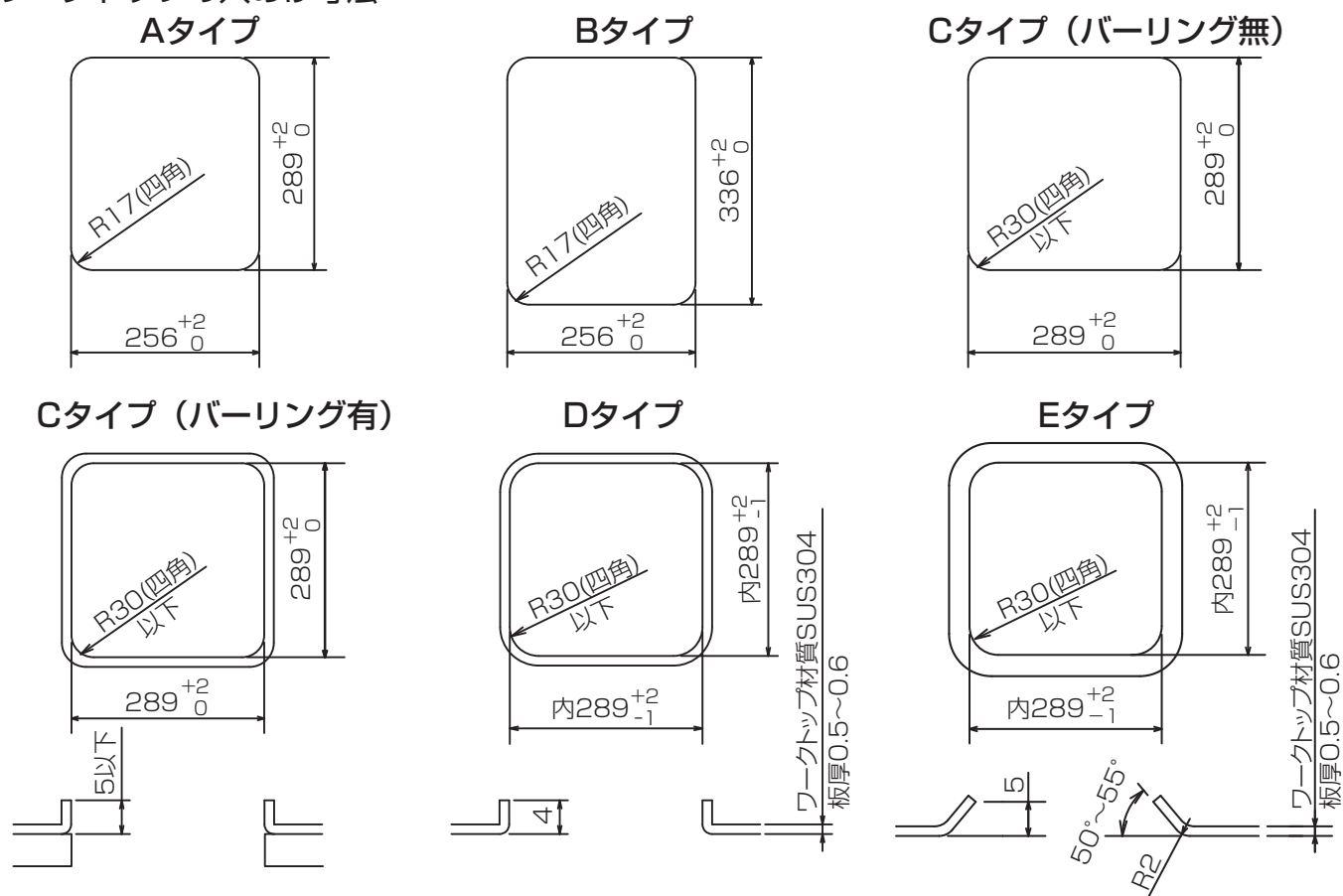
(単位: mm)

■ ワークトップおよびキャビネットに組み込む寸法

- ワークトップの開口寸法は、下図の寸法です。機器を取り付ける前に確認してください。
- ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板（JIS・K・6903）またはこれと同等以上の材料をお使いください。
- ワークトップの表面がニス引きのものは変色するおそれがあるので使用しないでください。
- ワークトップの奥行は420mm以上が必要です。
- ワークトップの厚みは40mm以下にしてください。
- A・B・CタイプとD・Eタイプに互換性はありません。ご使用のキャビネットに合った機器をお選びください。
PD-100H・P1310B0NH（六角ボルトタイプ）…A・B・C（バーリング無/有）タイプ
PD-100H-B（設置ばねタイプ）…D・Eタイプ

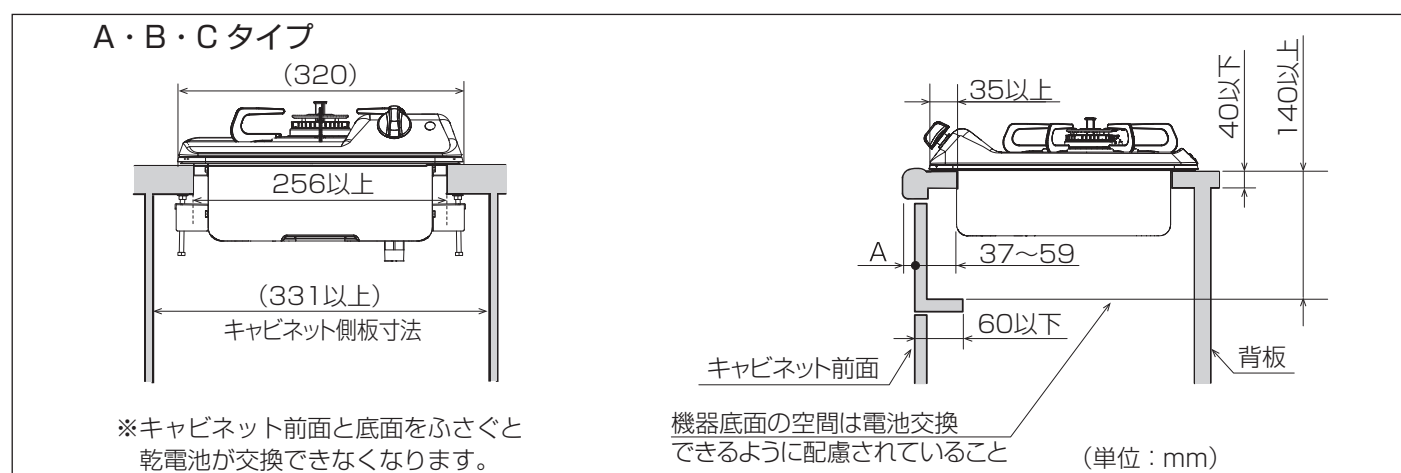
※設置フリータイプですので、ワークトップの開口（穴あけ）位置寸法は、A+37～A+59の範囲で設置できます。

ワークトップの穴あけ寸法

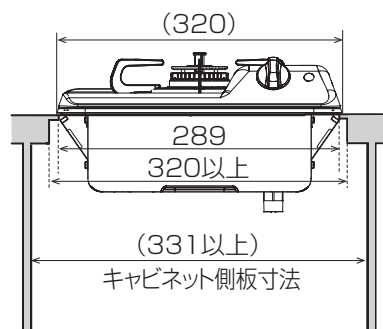


キャビネットの寸法

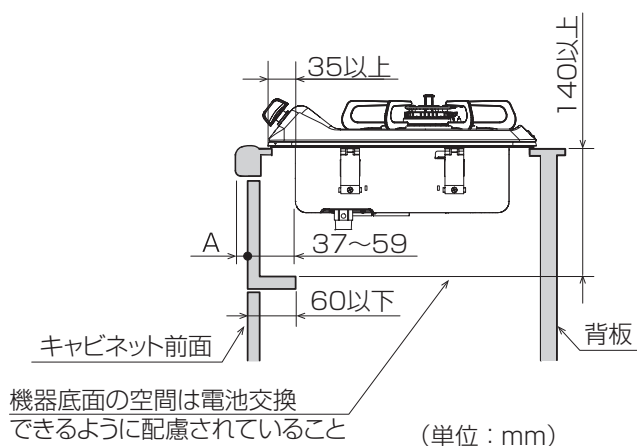
（単位：mm）



D・Eタイプ



※キャビネット前面と底面をふさぐと乾電池が交換できなくなります。



3 設置前のご注意

■ 同梱部品の確認

次の部品が同梱されています。不足のないことを確認してください。

部品名	個数	備考	部品名	個数	備考
本体	1		ごとく	1	
アルカリ乾電池 単2形	2		取扱説明書	1	
* ベース取付	2		設置工事説明書	1	

*PD-100H・P1310BONHNのみに同梱しています。

4 設置場所の確認

機器を設置する場所には、建築基準法、ガス事業法、液化石油ガス法および各地の火災予防条例上、以下の制約がありますので、それぞれに適合した場所に設置してあることをご確認ください。

- 火災予防条例により、機器周囲の可燃物（ステンレス板やタイルなどを貼り付けた可燃性の壁も含む）から機器のトッププレートより上の側方は15cm以上、後方は5cm以上、上方は80cm以上離してください。（下図参照）

（注）ステンレス板やタイルなどを可燃性の壁に直接貼り付けた場合にも熱伝導がよいため、長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがありますので必ずお守りください。なお、図の離隔距離で安全性は確認してありますが、所轄の消防署の指示する火災予防上安全な距離を保ち設置してください。

以上の離隔距離を守れない場合は、側方・後方は別売の防熱板B（PBN500B）を取り付けてください。

上方は金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を下図のように取り付けてください。

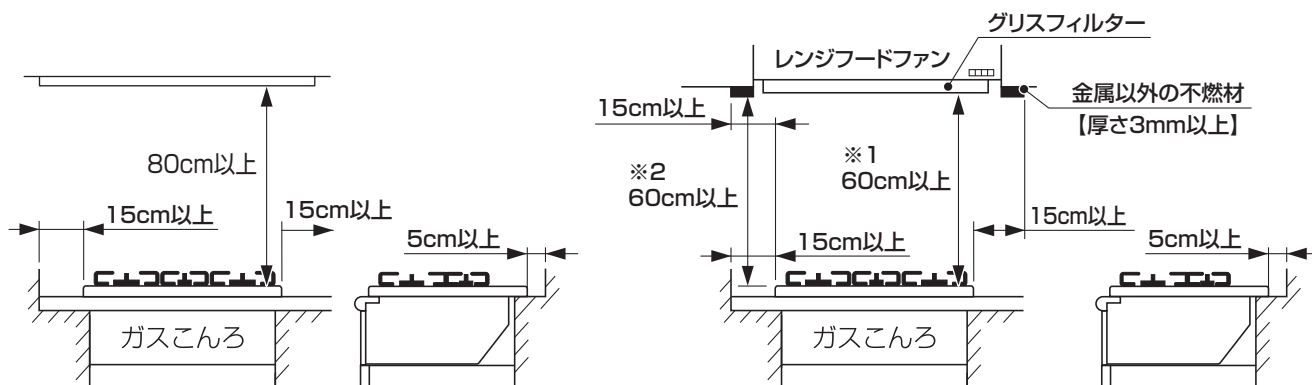
※別売の防熱板B（PBN500B）を壁に設置する取り付け方法は壁にねじ止めとなります。

（詳しくは、別売の防熱板に付属している「取付説明書」をご覧ください。）

●可燃物からの離隔距離（cm）

上方	側方	前方	後方
80以上	15以上	15以上	5以上

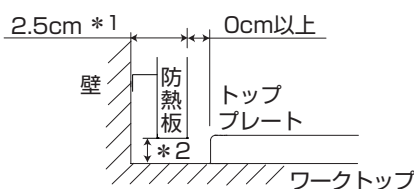
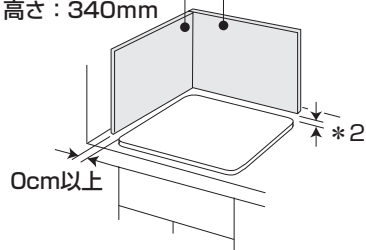
●上方の不燃材による防火措置



- ※1 レンジフードファン以外の場合は、80cm以上。
- ※2 不燃材がない場合、もしくは金属以外の不燃材厚さ3mm未満は、80cm以上。

●周囲の防火措置

防熱板B
(PBN500B)
幅 : 500mm
高さ : 340mm



- *1 壁とトッププレートのすき間が2.5cm以上必要です。
- *2 ワークトップと防熱板のすき間を設けてください。ただし、トッププレートより高くならないでください。

⚠ 注意



必ず行う

- 設置場所を決めるときは、お客さまとよく相談してください。
- 燃焼機器を設置する場所には、建築基準法や火災予防条例に定める防火措置を施す必要があります。
- この機器を設置する台所が、建築基準法に定める（内装制限を受ける調理室）に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。
- 水平で安定した場所に設置してください。
- 指定の防熱板を必ず使用してください。
- 十分に換気のできる場所に設置してください。
- 保守メンテナンスをする場所が確保されていることを確認してください。
設置後にトラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたすことがあります。
- 機器設置時は、ガス工作物・電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置してください。



禁止

- 車両・船舶には設置しないでください。
- 機器に水がかかる場所や耐久性などの点から湿気の多い場所には設置しないでください。
- 機器のまわりや上に、スプレー缶・プラスチック・油・紙類などを置かないでください。
- 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着材など）や、業務用薬品（アンモニア・硫酸・塩素・エチレン化合物・酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しないでください。



禁止

- 湯沸器や樹脂製の照明器具の下へ設置しないでください。
- 強い風の吹き込む場所に設置しないでください。点火しなかったり、温度センサーや立消え安全装置が正しくはたらかないことがあります。
- 棚の下など落下物のある場所には設置しないでください。
落下物に引火して火災となることがあります。

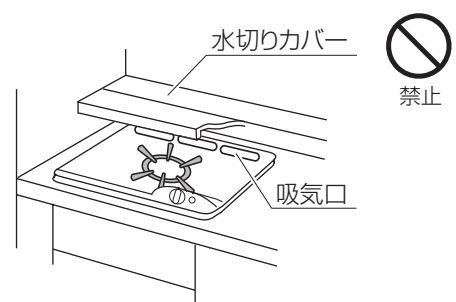


風・落下物のある場所



禁止

- 機器の吸気口をステンレスの水切りカバーなどでふさがないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因となります。



5 ガス配管工事

警告



必ず行う

■ガス配管の接続および取り外しには、専門の資格・技術が必要です

ガス配管接続工事については、ガス供給事業者の指示に従ってください。

・都市ガスの場合、金属管・金属可とう管または機器接続ガス栓を用いてガス機器を接続する工事は、供給元のガス事業者がその技能を認めた者が行ってください。

専門の資格には、GSS（ガス機器設置スペシャリスト）・ガス可とう管接続工事監督者・簡易内管施工士・内管工事士があります。

・LPガスの場合、金属管・金属フレキシブルホースまたは機器接続ガス栓を用いてガス機器を接続する工事は、液化石油ガス設備士の資格が必要です。

なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事事業開始届書」を提出する必要があります。

●接続の際はガスシール材を必ず使用してください。

●ガス栓を必ず設けてください。

●接続完了後、ガス漏れのないことを確認してください。

●ガス接続は、金属可とう管（金属フレキシブルホース）または機器接続ガス栓で接続してください。

●ガス配管と機器の接続口は、中心を合わせて接続してください。

●ゴム管口を使用しての接続は絶対にしないでください。

以上を守りませんと、ガス漏れや火災、機器が破損することがあります。

注意



禁止

■機器とガス配管を接続するときは強く締めすぎない

強く締め込みすぎると機器が破損してガス漏れの原因となります。

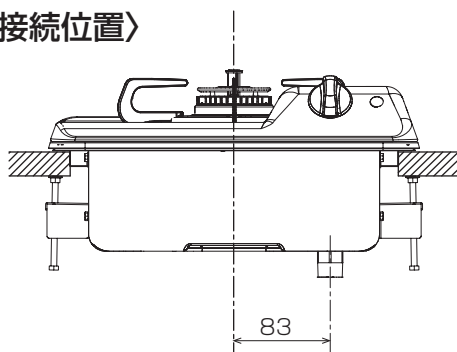
コンロのガス接続方法

●機器のガス配管接続径は、R1/2（外ねじ）です。

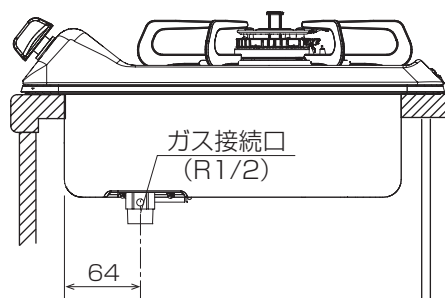
●金属可とう管（金属フレキシブルホースなど）の上流にはガス元栓を手前から操作できるように組み込んでください。

●必ずスパナで本体側ガス配管を受けて施工してください。

〈ガス接続位置〉



正面図



側面図

（単位：mm）

6 機器の設置

■ 開梱・機器の取り出し

⚠ 注意

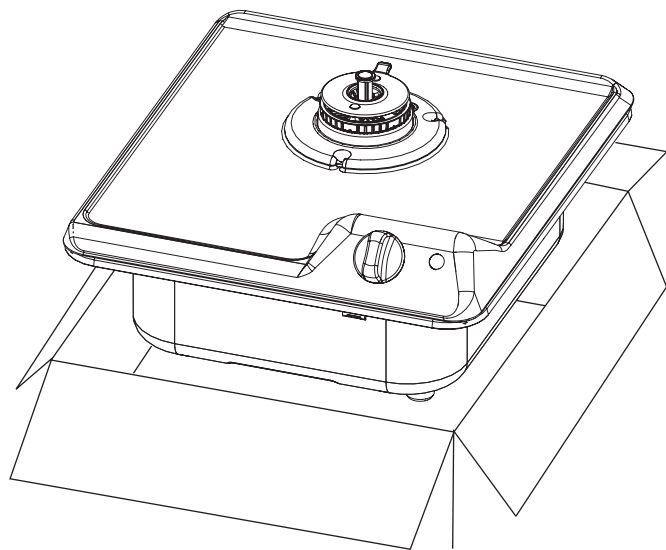


必ず行う

■機器を設置する際には必ず手袋をする

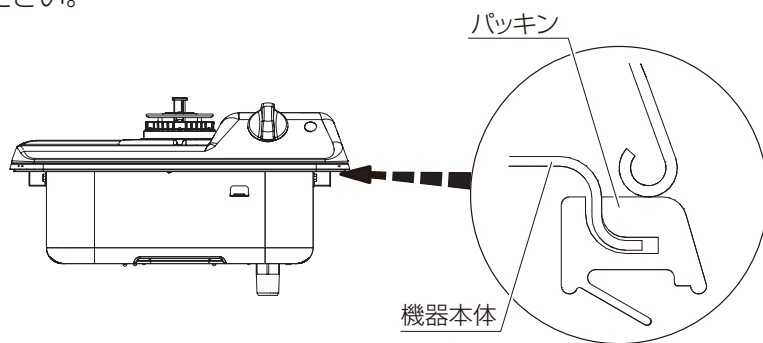
①開梱して同梱部品・梱包部材を取り出してください。

②機器本体を取り出してください。



※開梱時にパッキンが外れないように注意してください。

外れた場合は正しい位置に付け直してください。



⚠ 注意



禁止

■機器を取り出す際にはガス配管を持たない

ガス配管を持って機器を持ち上げないでください。

トッププレートの浮きやキャビネット内への水漏れ、燃焼不良の原因になります。

■ コンロの設置

ワークトップの穴あけ寸法の違いにより、手順が異なります。(6 ページ参照)

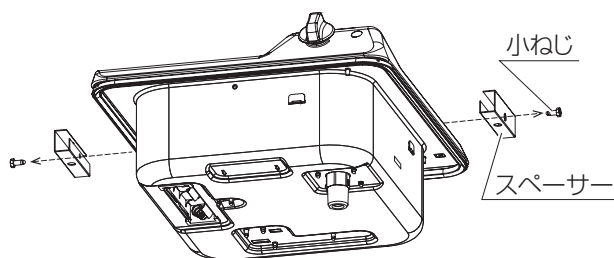
①PD-100H・P1310BONHN (六角ボルトタイプ)

Aタイプの場合は、スペーサーを取り外してください。

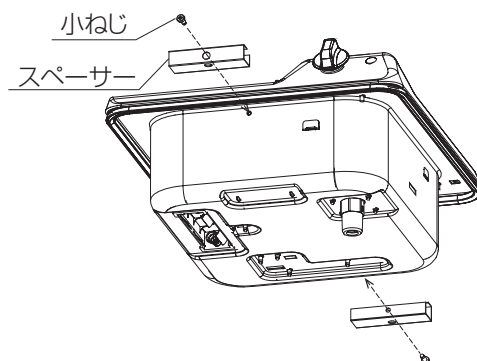
Bタイプの場合は、スペーサーを前後に取り付け直してください。

Cタイプの場合は、③へお進みください。

Aタイプの場合 スペーサー取り外し



Bタイプの場合 スペーサー取り付け直し



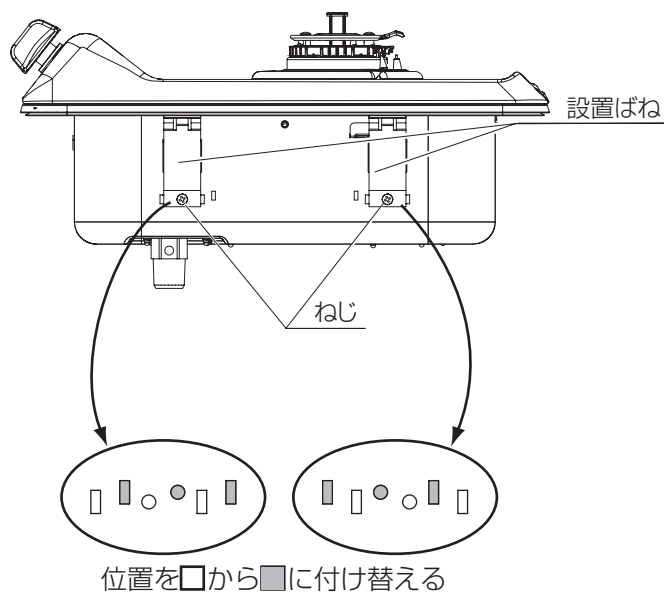
②PD-100H-B (設置ばねタイプ)

Dタイプの場合は④へお進みください。

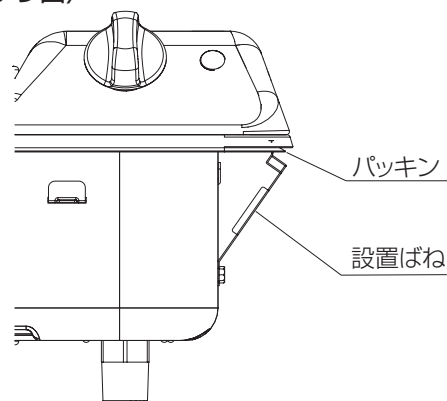
Eタイプの場合は以下の作業をしてください。

設置ばねを留めているねじを外して、設置ばねの位置を少し上にずらして付け替えてください。

※この時、設置ばねの上端部をパッキンの外側に掛けないでください。



〈仕上がり図〉



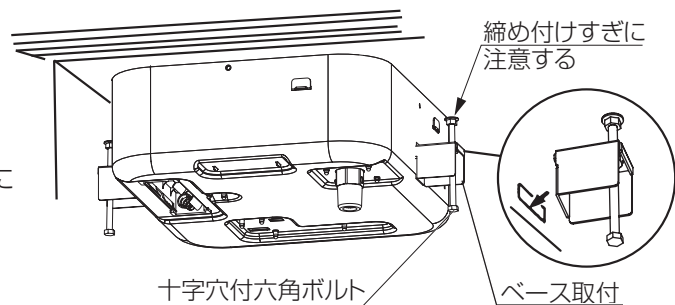
※設置ばねは上図のように留める

③ **A・B・Cタイプ**の場合は、

機器本体をワークトップに入れてベース取付を本体に差し込み、十字穴付六角ボルトを締め付けて

ワークトップに固定してください。

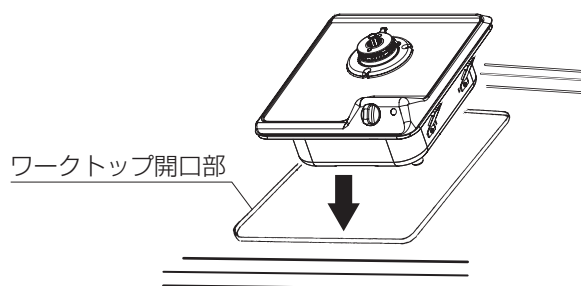
※締め付けすぎてワークトップ表面が変形しないように注意してください。



④ **D・Eタイプ**の場合は、

機器本体をワークトップの開口部にしっかりと押し込んでください。

※押し込んだ後、機器本体が外れないことを確認してください。



※ **A・B・Cタイプ**と**D・Eタイプ**に互換性はありません。
ご使用のキャビネットに合った機器をお選びください。

⚠ 注意



必ず行う

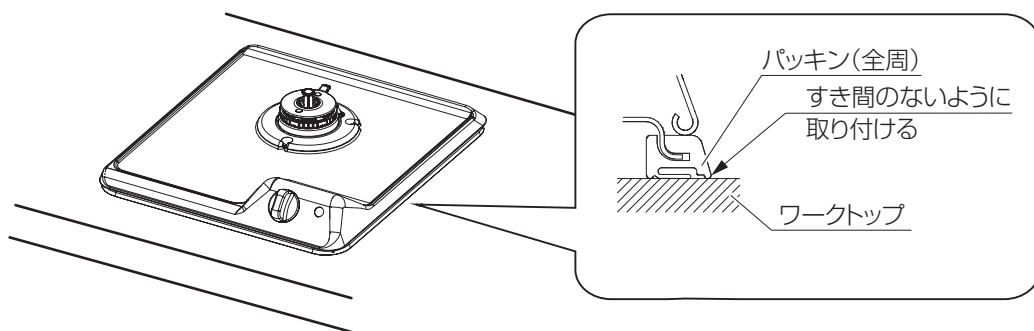
●ビルトインコンロをワークトップに入れる前に、キャビネットが背板などでふさがれているか確認してください。

4ページの■キャビネットを背板などでふさぐを確認してください。

●設置時に、ガス配管を持たないでください。

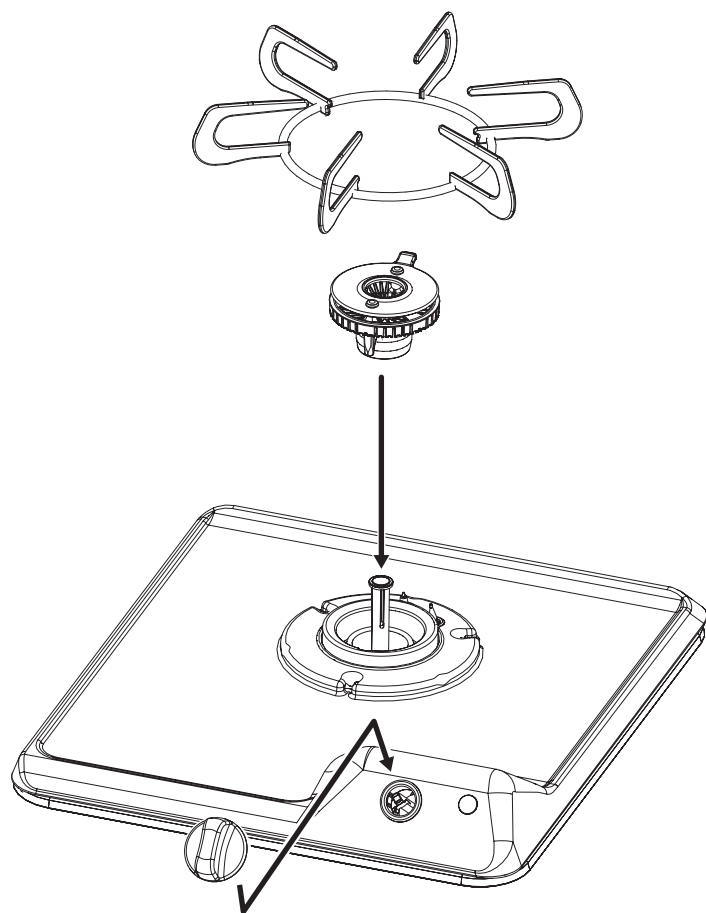
トッププレートの浮きやキャビネット内への水漏れ、燃焼不良の原因になります。

⑤ トッププレートとワークトップにすき間がないように取り付けてください。

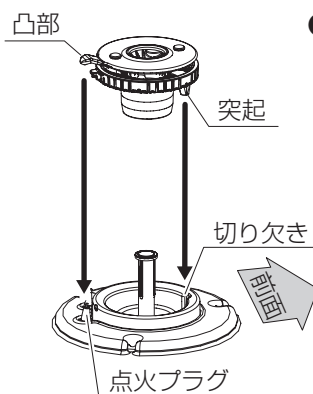


■ 部品の取り付け確認

バーナーキャップ・ごとく・操作つまみが、
下図のように正しく取り付けであることを確認してください。

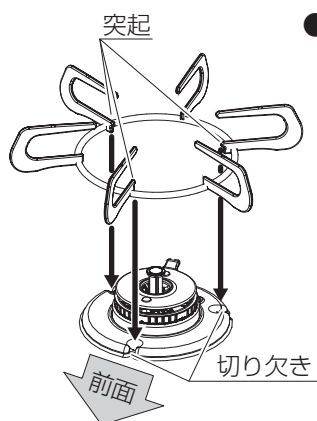


バーナーキャップ



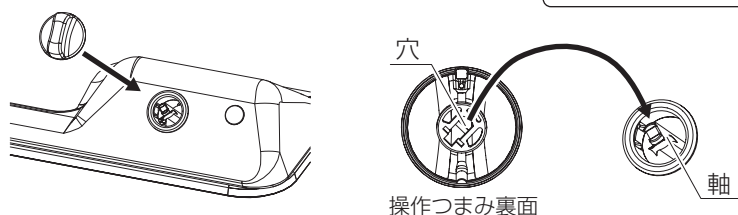
●バーナーキャップの凸部が
点火プラグの真上にくる位
置に、また、突起が切り欠
き部に正しく取り付けであ
ることを確認してください。
(出荷時にはすでに取り付け
られています。)

ごとく



●ごとくの突起が切り欠き部に
正しく取り付けであることを
確認してください。

操作つまみ



●操作つまみ裏側の中心の穴を軸にはめ込むよう
にして押し込んでください。
(出荷時にはすでに取り付けられています。)

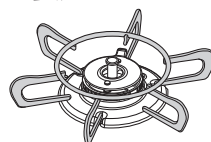
⚠ 注意



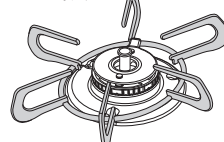
禁止

■ごとくは誤った取り付けで使用しない
鍋などが不安定になり、傾いたり、倒れたりする
おそれがあります。

裏返し



浮き・傾き



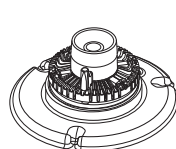
禁止



禁止

■バーナーキャップは誤った取り付けで
使用しない
点火不良になったり、不完全燃焼・一酸化炭素中
毒になるおそれがあります。
また、機器の中に炎がもぐりこんで焼損する原因
になります。

裏返し



浮き・傾き



禁止

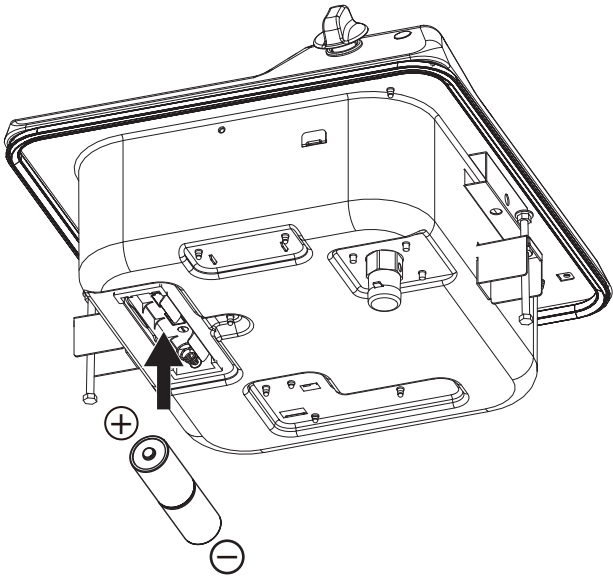
■ 乾電池の取り付け (アルカリ乾電池 単2形 1.5V 2個)

下記に従い、乾電池を取り付けてください。

- 付属の単2形アルカリ乾電池2個を図のように
⊕ ⊖ の向きを確認して入れてください。
※ 電池ケースは底面の左側にあります。

おねがい

- 電池ケースに水などの異物が入った場合は、乾電池の接触不良の原因となるため、ふき取ってきれいにしてください。
- 乾電池の挿入方向を間違えないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池、または違う種類の乾電池を混ぜて使わないでください。



※図はPD-100H・P1310B0NHNで説明しています。

7 設置工事後の点検確認

設置工事が終わりましたら、下表をチェックしてください。

点検項目	点検内容	参照項目	チェック
機器の適合	銘板のガス種は、使用するガス種と適合していますか。	①	
機器および その周辺	可燃物との離隔距離および火災予防上の措置は十分ですか。	① ④	
	保守・管理上の空間は確保されていますか。	④	
	機器は水平・安定に設置されていますか。	④	
	十分換気できる場所に設置されていますか。	④	
	機器は堅固に取り付けられていますか。	⑥	
キャビネット	キャビネットに仕切板がありますか。(機器後方に穴があいていませんか)	①	
ガス配管工事	配管は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	⑤	
ラベル貼付	接続具の設置者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けていますか。		
同梱部品	部品に不足がなく、機器に正しく取り付けられていますか。	③ ⑥	

8 試運転およびお客さまへの取扱説明

■ 試運転

正しく設置されていることを確認してから機器のガス栓（ねじガス栓）を開き、取扱説明書に基づき、点火および作動の確認を行ってください。

※試運転終了後、必ず機器のガス栓（ねじガス栓）を閉め、乾電池を取り外してください。

以上のことを点検しても、なお異常のある時や、おわかりにならない時は、お買い上げの販売店かパロマまでご連絡ください。電話番号は取扱説明書を参照してください。



注意



必ず行う

■試運転終了後は、必ずガス栓（ねじガス栓）を閉める

■ お客さまへの説明

①必ず取扱説明書に従って機器の取り扱い方法を説明してください。

②必ず取扱説明書の裏表紙の保証書に必要事項を記入のうえ、保証内容を説明してください。

また、取扱説明書と設置工事説明書はともにお客さまにお渡しして、保管のお願いをしてください。

連 絡 先	パロマお客様相談室
住 所	名古屋市瑞穂区桃園町 6 番 2 3 号
T E L	(052) 824-5145